

杉浦非水

Sugiura Hisui

高畠華宵

Takabatake Kasho

山六郎

Yama Rokuro

主催
京都芸術大学
芸術館・学園美術品活用委員会
大正イメージリイ学会

協力
高畠華宵大正ロマン館
山田俊幸
山健二

お問い合わせ
京都芸術大学 芸術館
075-791-9182

京都芸術大学 芸術館

入館料無料

京都芸術大学 人間館ギャラリー・オーブ2階
〒606-8271京都市左京区北白川瓜生山2-116
<https://kyoto-geijutsu-kan.com>

アール
デコ
イマジュリイ

Art
Deco
Imagery

2025年

12/6 [土]

12/24 [水]

10:00~17:00(入館は16:40まで)

休館 日曜日

design: LIMO



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS
学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学



関連イベント

シンポジウム「日本のアール・デコとモダンガール」 (大正イマジュリ学会第61回研究会)

日時！ 2025年12月6日(土)13時半より
場所！ 望天館1階BT11教室

どなたでも参加いただけます。
最新の詳細情報は芸術館HPでご確認ください。

主催：大正イマジュリ学会 協賛：公益財団法人きょうと視覚文化振興財団

京都芸術大学 芸術館

京都芸術大学 人間館ギャラリー・オーブ2階
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
<https://kyoto-geijutsu-kan.com>



大阪・関西万博開催の年である2025年から100年前の1925年、「現代装飾美術・産業美術国際博覧会」、通称アール・デコ博がフランス・パリで開催されました。この博覧会をきっかけに、アール・デコのデザインは、大衆文化と密接な関わりをもちながら、ヨーロッパのみならず世界各地に広まります。

アール・デコは、幾何学形を基調とし、機械的なイメージや異国趣味を織り交ぜた都会味あふれるデザインが特徴的ですが、その特徴は1920・30年代の日本のデザインにもあらわれました。建築や室内装飾、ファッションだけでなく、装丁や広告、雑誌の表紙や挿絵などのイマジュリ——フランス語で「イメージ図像」を意味する大衆的な複製図像——が、独特に咀嚼し表現されたアール・デコで彩られました。

この展覧会は、高島華宵大正ロマン館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、個人蔵の所蔵品から、杉浦非水、高島華宵、山六郎によるグラフィック・デザインを中心に約50点の作品により、日本のアール・デコの一端を紹介するものです。現代のイラストレーションやデザインにも通じるモダンな感覚と抒情性にあふれるイマジュリは、現代の私たちをきっと魅了することでしょう。

1～3. 杉浦非水『非水創作図案集』(1926)より

4. 高島華宵《夜会の薔薇》1927

5. 高島華宵《ささやき》c.1929

6. 高島華宵《べに椿》1926

7～8. 山六郎『女性のカット』(プラトン社、1928)より

9. 山六郎『女性』表紙絵(プラトン社、1925)より

本企画は、京都芸術大学芸術館が取り組む「芸術館を活かし、本学学生・教員の制作・研究・教育活動と協働する近現代のアート・デザインの展示」のひとつです。

